

## 小学校児童の生活環境について

平成30年第3回定例会 一般質問



今回、本市の小学生、そして、保護者の方々からいただいたお声について質問をしました。まず1点目は、本市の小学校の制服について。

制服が制定された学校と未制定の学校が存在している現状があり、保護者の経済的負担の増大と「子どもの貧困」という社会問題への対応の点から、まず初めの一歩として保護者のみなさんの声を聞くためのアンケート調査の実施により、地域ニーズを拾い上げる必要性を訴え、教育委員会より各学校・各地域の実情に応じた対応を行うという前向きなアクションへの一歩となる回答を得ました。

“決まっているからと諦めず、何が必要か?どうすれば変えられるのか?”を今後も追求してまいります。

2点目は、昨今、子どもの健康面・安全面から問題となっている通学時の荷物、ランドセルが重すぎるという問題への対応が必要との観点から、現在の対応と学校、教育委員会の見解を聞き、さらなる改善による負担軽減を要望しました。具体的には、本市の通学区域は広く、4キロも通学距離がある場合もあり負担軽減策の必要性と、子どもたちにも分かりやすく周知を図ること、学期初めと学期末の副教材への対策の必要性を指摘し、教育委員会より子どもの負担軽減への工夫を講じるとの答えを得ることができました。子ども達の安心・安全そして、健康は全てに優先します。

引き続き、子ども達の負担軽減・教育環境整備に取り組んでまいります。

### 平成30年第3回定例会常任委員会(協)

【厚生文教委員会】・小学校へのエアコン設置について  
(いいさか所管) ・和泉市手話言語の理解及び普及並びに豊かなコミュニケーションの促進に関する条例(素案)について

【都市環境委員会】・本市の環境負荷の低減を図るため他市からの一般廃棄物の搬入の際に協力金を課す条例について

【総務安全委員会】・(仮称)中央消防署[平成32年4月1日開署予定]工事請負について  
・2市1町(和泉市・泉大津市・忠岡町)による消防広域化検討について  
・消防本部の建て替えについて

#### 【厚生文教委員会(協)での質問】

##### 「小学校へのエアコン設置について」

非常に遅すぎる感は否めないが、事業としての前進は評価する。そのうえで、来年夏期休暇内に設置予定とあるが、本市として子ども達に今年と同じような辛い思いをさせないためにも、あらゆる手を尽くしエアコン設置を来夏に間に合わせるべきと主張しました。

「和泉市手話言語の理解及び普及並びに豊かなコミュニケーションの促進に関する条例」条例制定については大いに賛成をしたうえで、本条例をただ単に制定しただけの理念条例として終わらせるのではなく、確実に実効性を持たせるためには、福祉部局だけのマターではなく全庁的なマターとして捉え具体的な取り組み方法を記載すべきであると指摘しました。

【お問い合わせ】TEL/FAX:0725-92-1811 E-Mail: iisaka.izumi.isin@gmail.com

大阪維新の会 和泉市議会議員  
**いいさか 光典** みつなり

ISHIN ZENSHIN  
市政報告 Vol. 6



### 有言実行!「身を切る改革」議員報酬削減による供託金を 大阪府北部地震の被災地へ義援金として寄付

去る6月18日に発生した大阪府北部地震の甚大なる被災地である、高槻市・茨木市に対し我々大阪維新会和泉市議団は、市民のみなさんとお約束した「身を切る改革」・議員報酬の削減により法務局に供託しておりました供託金を義援金として寄付させていただきました。

今回の災害は、本当に身近で発生した地震であるにもかかわらず、地域により被災状況には大きな差が見られました。

高槻市・茨木市をはじめとする大阪府北部地域の復興は、まだこれからというのが実情であり、同じ大阪人として、そして大阪の一政治家として、少しでもお役に立てればという想いで行動をとさせていただきました。私自身、議会でも取り上げさせていただいている災害への備えの大切さを再認識すると共に、今回の災害での教訓を今後に生かし活動してまいります。

結びに、大阪府北部地震ならびに平成30年7月豪雨、そして本市においても甚大なる被害をもたらした9月の台風21号により尊い命を失われた方々のご冥福をお祈りするとともに被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。



### H30年度 いいさか光典市政報告会 & 維新の会議会報告会

日時: 平成30年12月1日(土曜日)

午後7時～8時30分

会場: 和泉シティプラザ3階 学習室3

弁士: 遠藤敬衆議院議員、森かずとみ府議会議員(予定)

※入場無料 ※多数お誘い合わせの上、お気軽にお越し下さい。

発行日 平成30年10月10日 発行元 いいさか光典 〒594-1121 和泉市下宮町88-1

## 自転車を活かしたまちづくり

平成30年第2回定例会一般質問

近年、エコ、そして健康志向やスポーツの一形態として人気が高まり、愛好家並びに競技人口が増加し、そのうえ災害時の機動性ある移動手段としても注目されている自転車を本市の観光、そして、経済政策をも含めた「まちづくり」に活用し、和泉市を活気づける一つのツールとして活用するための事業提案と要望を行いました。



また、実施にあたっての課題と改善点の指摘をし、まず平成29年5月に「自転車活用推進法」が施行されたが、このことにより、本市としてどのような施策に取り組んでいるのかを問い合わせ、観光来訪の促進策として「観光レンタルサイクル」「サイクリルートの設定」に取り組んでいるとの答弁を得たが、本市の観光レンタルサイクルは、ただ事業として行っているというだけで利用率が低いにもかかわらず利用促進を考えた行動もなく、観光レンタルサイクルという名称にもかかわらず、ビジネスユースが利用の大部分を占める現状を指摘し、本来の目的である観光利用促進策として、市内のレンタサイクルステーションのどこにでも返却できる「乗り捨て制度」の導入といわゆる“ママチャリ”だけではない車種の導入を要望し、車種については調査を進め検討するという前向きな答弁を得ました。

次に、「サイクリルートの設定について」 泉州地域の9市4町で構成する泉州観光プロモーション推進協議会において本年3月に“ぐるっと泉州サイクリングマップ”が発刊され、その中に本市のサイクリルートも設定されており、その整備状況について質問しました。観光促進としてルートを設定するのであれば、本来は、しっかりと自転車が安全に走行できる環境整備を進めるのが先だと考えるが、本市はただルートを設定しただけではなくから他市を参考に進めるという答弁に対し、それでは、観光施策として他市の後塵を拝することになり、本気で本市への誘客を促す気があるのか疑問に感じると反論。早急に本市としての対応をとることを要望しました。



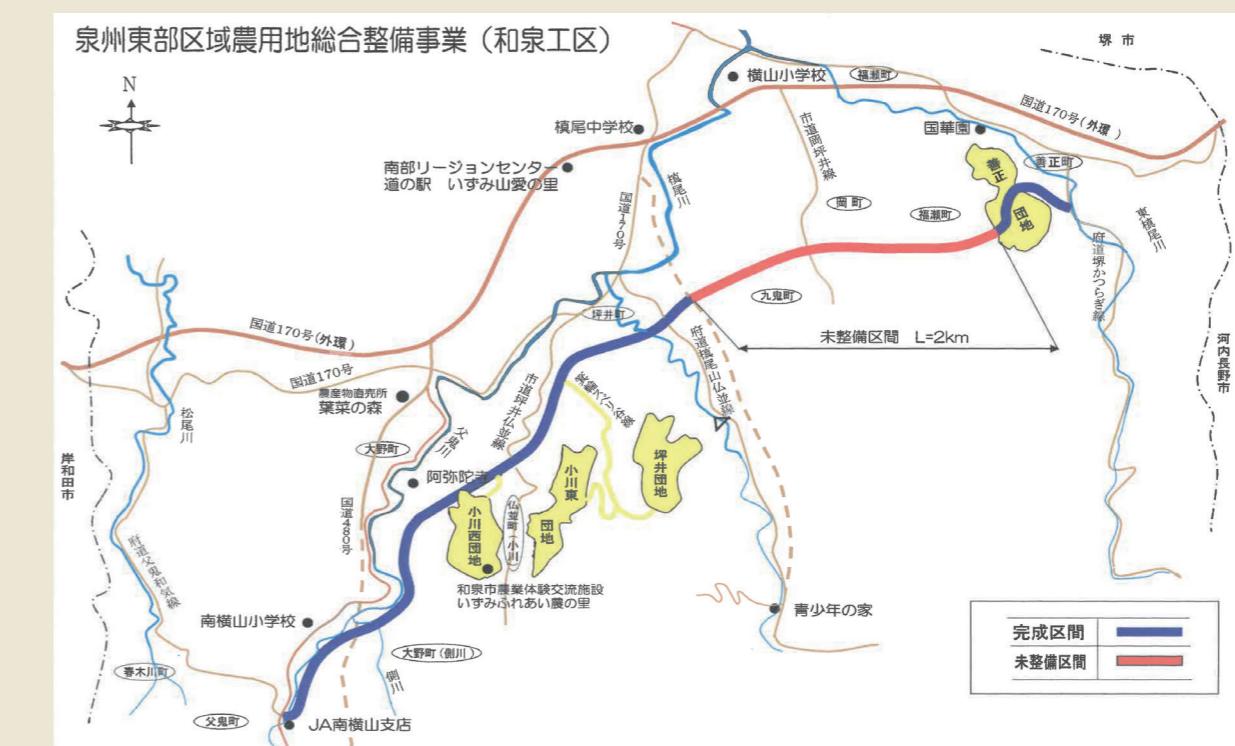
また、平成29年第1回定例会においてとりあげた「和泉市の観光施策について」、「南部地域の活性化について」の2項目に共通する“鍋谷峠”と“槇尾川ダム跡地”的有効活用についての進捗状況を質し、自転車による新たな活性化を提案すると共に、その環境整備を要望しました。引き続き本市の持つ資源を有効活用し、また、眠っている資源を掘り起こし本市のポテンシャルを最大限発揮できるよう尽力してまいります。

## 泉州基幹農道未整備区間について

平成30年第3回定例会 一般質問

平成9年から事業開始され、工事延長6,600メートルの計画で進められ平成20年に延長4,662メートルで事業完了した泉州基幹農道の未整備区間の現状と今後の展開について質問しました。

まず、本市南部の4つの農業団地と数年後に整備計画予定の(仮称)和泉市農業振興研究施設との一体活用により本市の目指す「産業として成立する農林業の確立」を図る必要があり、そのためには、この未整備区間の再整備の必要性があると訴え、現段階における、前向きな大阪府と行動を起こさない和泉市とのこの事業に対する温度差の原因について追求しました。



その結果、①地権者を含む地域の合意形成 ②道路整備事業だけでなく周辺整備が必要となる ③以前の整備事業よりも大きくなる財政負担 以上の3点がハードルとして示された。確かに、このハードルは存在するが、本市の農業の実態を鑑みれば新規就農者の育成など待ったなしの状態にあるにも関わらず、大阪府に要望し続けるだけなのか!また、財政負担に対し、行政は事あるごとに市民のみなさんに受益者負担として負担を強いているにも関わらず、その当の行政は“安心・安全なまちづくり”にも必要となる事業であるにも関わらず負担軽減ばかりを訴えるのは、あまりにも都合が良すぎるのではないか!と指摘し、本市の事業実施への本気度と地域・大阪府と共に課題解決へ前向きに取り組みを行う旨を確認しました。また、同時にこの道路建設の副産物として災害時のライフラインとなり「安心・安全なまちづくり」にも必要となるインフラである点を指摘しました。

当然、市民の皆様方からお預かりした税金を投入することになる事業です。しっかりと最大の効果が得られるよう、進捗課程を見守ってまいります。